

政治を知ると世の中のしくみが視えてくる

市議会だより

かつらぎ

KATSURAGI

Vol. **44**
2022.3.1.

Parliamentary reports of Katsuragi



特集 きかせて！市民の声
▶ 令和3年度葛城市成人式実行委員会

報告 令和3年第4回葛城市議会定例会
▶ 今号の目次は4ページをご覧ください

未来を担う若者たち（令和3年度葛城市成人式実行委員会）

昨年と同じく成人式を迎える若者に登場していただきます。16人で構成される「令和3年度葛城市成人式実行委員会」のメンバーのうち、取材に協力いただいた8人に、葛城市がどのようなまちであってほしいかというテーマで語っていただきました。

出席者8人に聞いてみました

- ① 議会の年間開催数は？……知っている（4回）0人
- ② 議場の場所は？……知っている（新庄庁舎5F）0人
- ③ 議会だよりをご存知ですか？……知っている5人

将来、葛城市に住む？

テ レビ局で働きたいので、希望しているテレビ局のある都市に住むことになると思います。

海 のある県に住みたいです。大学で学んでいる水産関係の仕事に就きたいからです。

奈 良県内で教師となることを希望しています。異動はありと思いますが、葛城市に住みたいです。



大 学を卒業したら東京に行きたいです。看護師の免許をとる勉強をしています。卒業したら助産師の免許をとるため最先端の情報がある東京で学びたいです。

大 学出たら戻ってきて、奈良県内で消防士として働きたいなと思っています。

どんな葛城市になってほしい？

行きたいと思える施設を

尺 土駅は急行も特急も停まる駅なのに何もありません。もったいないなと思います。

高 高校生や学生は実家から電車で通っていることが多いので、駅周辺に学生が気軽に寄れ



るところがあれば、行き帰りが過ごしやすくなると思います。定期を持っていても、葛城市内よりも大和高田市とか橿原市でお金を使うことになってしまいます。

久 しぶりに帰ってきて、変わっていないというのでもいいけれど、ここに行きたいと思えるような場所があったら、もっと帰ってきたいと思います。



食べるところとか、ゆつくりで
きるような施設があればと思っ
ます。

葛 城市を紹介するときには何か
「これ」というものがほしい。

子どもが安心して遊べる

葛 城市は小さな子が多いイメ
ージがある。子ども達がい
る地域で何が危険かという交
通事故ではないですか。狭い道
も多いし、交通事故のニュース
を聞くと子ども達も危ないと感
じます。交通事故をゼロにすれ
ば、安心して住める地域になる
のではないのでしょうか。

小 さいときから野球をしてい
ます。僕が小さい時は野球
とか、もっとボールを使える公
園がありました。今は草が生え



ている公園とか、規制があつた
り、自由に使えない公園が多く
あったり、遊具が壊れていたり
しています。遊べる公園がもつ
とあれば、子ども達ももっと遊
ぶことができるのではないでし
ょうか。

人と関わりあえる環境

小 学生の中からいろんな人と
一緒にバドミントンをやっ
てきて、コロナになって気づい
たのですが、人との関わりとい
うのが大事だなって。人として
成長できる、人と関わり合える
機会が増えたら良いと思います。

自然と歴史が息づくまち

お 寺とか好きなので、古いも
のも残してほしい。



ビ ルが多い都会に
いま住んでいま
す。葛城市に帰って
きたら田舎で自然の
空気も吸えるし、友
だちに会うのも楽し
い。今の自然豊かな
葛城市のイメージを
守り続けてほしい。

インタビューを終えて

成人式を迎える若い方々の郷土愛を
感じました。子ども達が遊べる公園の
整備、高校生や学生が楽しめる場所づ
くりなど、人と人が関わりあえる環
境がたくさんある葛城市、という一つ
の姿が見えた懇談会でした。



令和3年第4回 葛城市議会定例会が 開かれました

- 葛城市入札監視委員会条例の制定を可決（P5）
- 葛城市行政組織条例の一部改正を可決（P5）
- 定例会最終日を待たずに一般会計補正予算を可決

令和3年第4回定例会（12月議会）を、12月6日から21日までの日程で開催しました。

本会議初日には、市行政から葛城市教育委員会委員任命の同意が求められ、全会一致で同意しました。

2日目からは一般質問が行われ、各議員がそれぞれの視点で市政全般について問いただしました。

その後、各常任委員会で関係する議案の審査を行い、予算特別委員会では補正予算の審査を行いました。付託された議案については通例、最終日に本会議で採決を行います。子育て世代への臨時特別給付金の年内給付を行うために、16日の予算特別委員会終了後ただちに本会議を開いて議決しました。

最終日には、その他の議案について採決を行いました。

全議案の審議結果の一覧はこちら

P9

今回の会議

本会議

行政側より議案の提案が行われます。一部の議案は委員会に付託され審査された後、本会議で最終の採決が行われます。

常任委員会

葛城市議会には「総務建設常任委員会」と「厚生文教常任委員会」の二つの常任委員会があり、本会議で付託された議案の審査を経て委員会採決を行います。また、それぞれの常任委員会が所管する調査案件についても話し合います。

P8

予算特別委員会

行政側から提案のあった補正予算について審査を経て、委員会採決を行います。

P6～P7

一般質問

各議員が、市政全般について行政側の考えを問いただし提言等を行います。

P10～P15

入札監視委員会を新設

■議案内容
議第62号「葛城市入札監視委員会条例を制定することについて」

「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の趣旨を踏まえ、市が発注した建設工事、委託業務及び物品の購入などの入札・契約手続について、透明性の確保と公正な競争の促進を図るために、第三者委員会である葛城市入札監視委員会を置くもの。

委員は3名以上で、入札及び契約手続に関する学識経験等を有する者の内から市長が委員を委嘱する。

道の駅かつらぎ建設事業において官製談合事件が発生したことから、再発防止のために第三者による入札契約監視委員会を設置するもの。

■主な質疑

問 奈良県内での設置状況は？
答 奈良市、大和郡山市、天理市、生駒市、橿原市の5市がすでに設置している。



問 入札監視委員会の設置が今になった理由は？

答 当初は要綱等で入札監視委員会の設置を検討していたが、国土交通省の入札契約改善推進事業に今年度応募し、指導助言を受けながら入札監視委員会制度を進めてきたことから、今回12月議会での提案となった。

問 開催回数はいくつ？

答 1月と7月に定例で開催する。今年度については1月に開催し、4月から9月分について審査する運びとなっている。

問 審査対象の抽出方法は？

答 事務局で案件の一覧表をつくり、その中から委員が抽出する。市が抽出することはない。

さらなる財政機能の強化に向けて

■議案内容
議第63号「葛城市行政組織条例の一部を改正することについて」

市行政の効率的な運用を図るため、令和4年度以降の組織機構の見直しの改正を行うもの。

■主な質疑

問 財務部が新設された理由は？

答 地方自治体の財政が悪化すれば、社会保障、教育などの行政サービスの大幅なカットにより市民生活に大きな影響をおよぼすことが危惧される。そのようなことがないよう、今後さらに財源の確保をはじめ、効率的な行政運営等を行い、財政機能の強化を図るために新設するものである。

問 総合窓口課が、現在の當麻分庁舎に新設されるにあたり、市民窓口課や他の課との関係や職員配置はどのように考えているのか？

答 職員の配置については全体の状況をみて適正に配置し、市

民サービスに差がでないように対応していきたい。

■意見

今回の機構改革により課の名称等の変更も検討されているようだが、市民にとって分かりやすく利用しやすい名称となるように工夫し、混乱がおきないように十分な周知をお願いする。



子育て世帯臨時特別給付金を年内に給付

議案審議

■議案内容
議第69号「令和3年度葛城市一般会計補正予算(第4号)の議決について」

国の施策に伴う、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業。18歳以下1人当たり現金5万円の給付を行うもの。

■主な質疑

問 子育て世帯臨時特別給付金事業の内容について。この補正予算では5万円を年内に現金給付できるように進めているものと認識しているが、現在の国の動向を踏まえて、葛城市としてどのように給付しようとしているのか？

答 この給付金の支給方法について、国から3つの方法が正式に示されたことを受けて、この補正予算が可決されれば、追加議案として、更に5万円支給の補正予算を提案し、葛城市としては、年内に10万円を一括支給出来るように事務を進めたいと考えている。



■要望

是非、年内に10万円を一括支給出来るようにお願いするが、市民に混乱がおきないように、丁寧に周知をしていただきたい。

問 子育て世帯臨時特別給付金について年収制限等により対象とならない方への対応は市独自で考えているのか？

答 葛城市としては、国の基準に準じて支給する予定をしているので、対象者は約7,100人の内、95%の約6,800人への支給を見込んでいます。

まち・ひと・しごと創生寄付活用事業とは？

議案審議

■議案内容
議第69号「令和3年度葛城市一般会計補正予算(第4号)の議決について」

企業版ふるさと納税制度によるリコージャパン株式会社からの250万円の寄付に伴い、その活用方法として葛城市の地域創生にかかる事業に対し、寄付を行った企業から適した人材を派遣して業務を行うための人件費の承認。

■主な質疑

問 まち・ひと・しごと創生寄付活用事業の内容は？

答 企業版ふるさと納税(人材派遣型)は、令和2年度に新設され、企業の人材が、寄付活用事業に従事する地方公共団体の職員として任用される場合、人件費を含む事業費への寄付により、法人関係税の税控除を受けることができるものである。

問 具体的にどのような事業を行っているのか？

答 葛城市では、スマート自治体を実現するため、新たな庁内

■意見

のIT化ニーズに対応した住民サービスのあり方を検討しており、リコージャパン株式会社の人材を専門的知識を持った民間の視点で、ICTを活用した地域課題の解決を目指して、職員への支援を行ってもらっている。

市内業者はこの制度は使えないので、市外に向けて積極的に宣伝してほしい。



学校 ICT 環境の充実へ

■議案内容
議第69号「令和3年度葛城市一般会計補正予算(第4号)の議決について」

国のGIGAスクール構想前倒しにより、葛城市でも全ての児童生徒に情報端末が配布され、PCを活用した授業が始まっている。今回の補正予算では、公立学校情報機器整備補助金を活用した学校情報化推進事業費が計上された。

コロナ禍における学校休業中、他の自治体では学校と家庭を結んだオンライン学習を行ったところも多かったが、残念ながら葛城市では実現しなかった。また二学期当初の児童生徒の感染者急増と、家族に感染者が出て自宅待機となる事例が多数発生したことを受け、非常時にあっても学習に著しい遅れが出ないように、また今後の感染拡大に備えリモート授業を行える体制を構築することが必要となった。

整備内容は、学校よりリモート授業を行う教師用機材として、小学校にはタブレット端末固定

用ホルダーと三脚、ヘッドセット(マイク)、中学校には映像配信用広角カメラとPC固定用ホルダーと三脚を、小学校には各校5台、中学校には各校3台を配備するもの。加えて車椅子利用者が学校生活を円滑に過ごせるよう、校舎低層階教室へのWiFiネットワークの整備を行うもの。

今後もコロナ感染拡大等による非常時においては、オンライン学習が重要となるが、補助金の関係で全クラスへの導入に至っていない点については憂慮すべきで、本気で取り組むものならば更なる整備が必要。



これからの葛城市の待機児童対策

保育施設について

老朽化している磐城第1保育所と當麻第1保育所の2施設については民間による建替えを検討している。規模については、公立保育所に弾力運用で出ている待機児童の部分を鑑みて認定こども園の整備を考えている。

民間移行への今後のスケジュールは、今年度中にプロポーザルを実施し、業者選定を図り、業者の決定までを予定しており、2年後の令和6年4月の開園を目指している。場所については、當麻小学校区エリアを予定している。

保護者への説明等は今後、重ねていきアンケート等で、どういったことに希望を持っておられるかを聞き取り可能であれば業者選定のプロポーザル実施の際に役立てたいと考えている。



保育士派遣業務委託について

例年、保育士の確保に苦慮しており、会計年度任用職員保育士を通年で募集し続けている。ハローワーク、ホームページ、防災行政無線、奈良県主催の保育士求人ブースへの参加や、学校訪問をしたり、潜在保育士再就職等支援・登録事業を行い保育士の採用に努めているが、採用に結び付かない状況である。また、正職員保育士も毎年のように出産、妊娠等で何名かは常に不足する状態が続いており現在いる保育士が有給休暇、夏季休暇もなかなか取得できない状況となっている。

来年度の園児の募集に対し現在の正職員保育士及び会計年度任用職員保育士のほかに、待機児童を解消するためには保育士が不足となっている。

今回、初の試みで保育士派遣業者の力を借り、委託業務として保育士の確保に努めたい。

閉会中の調査案件

3月定例会に向け調査しています

総務建設常任委員会

(1) 奈良県社会教育センターの跡地利用に関する事項

奈良県社会教育センターは、令和3年3月31日に廃止となり、管理について地元の4地域から意見・要望が陳情されている。管理状況や跡地利用に係る状況について調査する。

(2) 道の駅に関する事項

改選前の道の駅かつらぎに関する調査特別委員会では、令和3年9月に中間報告が作成され、これまでの調査状況が報告された。現在も損害賠償等請求事件の裁判等が係争中であり、裁判状況などを執行機関から報告を受けて調査する。

(3) 葛城市地域公共交通計画に関する事項

令和4年に葛城市地域公共交通計画が策定される予定であり、その策定状況や事業内容について調査する。

(4) 都市計画法一部改正に伴う区域見直しに関する事項

令和4年4月の都市計画法の一部改正に伴う災害ハザードエリアの除外や集積率の見直し等に係る区域の見直し等について

(5) 契約事務に関する事項

議会で指摘されている契約事務の手續き等に係る調査状況について執行機関から報告を受けて調査する。

(6) 尺土駅前周辺整備、国鉄・坊城線整備事業に関する事項

尺土駅前周辺整備及び国鉄・坊城線整備事業の進捗状況について。

(7) その他総務建設常任委員会の所管に属する事項

必要に応じ、執行機関から報告を受けて調査する。



厚生文教常任委員会

(1) ゴミ収集運搬処理に関する諸事項

地域で異なるごみ収集事業の現状について。
増加傾向にある有価物一時保管所の現状と地域環境への影響について。

(2) 学校給食に関する諸事項

監査委員からも指摘される、解消されない給食費の未納について。

(3) 就学前児童の保育と教育に関する諸事項

新年度より始まる民間小規模保育施設の整備状況について。
當麻地区における今後の保育環境整備について。

(4) 新庄小学校区学童保育所に関する諸事項

当該施設の整備進捗状況について。

(5) ICT教育に関する諸事項

教育現場においてGIGAス

クール構想で整備されたICT機器の活用状況並びに、プログラミング教育の取組み状況について調査する。

(6) 敬老年金に関する諸事項

監査委員から財政負担を指摘されている葛城市独自の当該制度について、制度導入の背景からこれまでの経緯について調査する。

(7) コロナ対策に関する諸事項

予断を許さないコロナ対策への取組みと現状について。
6月定例会におけるコロナ対策決議への対応状況について。

(8) その他厚生文教常任委員会の所管に属する事項

必要に応じ、執行機関から報告を受けて調査する。

次回3月定例会までの閉会中審査について、両常任委員長より申し出があり、本会議で全会一致により承認されました。

令和3年第4回定例会議案等の本会議審議結果

議案等番号	件名	議決結果
議第61号	葛城市教育委員会委員の任命について	全会一致同意
議第62号	葛城市入札監視委員会条例を制定することについて	全会一致可決
議第63号	葛城市行政組織条例の一部を改正することについて	全会一致可決
議第64号	葛城市福祉事務所設置条例の一部を改正することについて	全会一致可決
議第65号	葛城市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて	全会一致可決
議第66号	葛城市国民健康保険条例の一部を改正することについて	全会一致可決
議第67号	葛城市・広陵町介護認定審査会共同設置規約の変更について	全会一致可決
議第68号	葛城市・広陵町障害支援区分判定審査会共同設置規約の変更について	全会一致可決
議第69号	令和3年度葛城市一般会計補正予算（第4号）の議決について	賛成多数可決
議第70号	令和3年度葛城市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）の議決について	全会一致可決
議第71号	令和3年度葛城市介護保険特別会計補正予算（第2号）の議決について	全会一致可決
議第72号	令和3年度葛城市学校給食特別会計補正予算（第2号）の議決について	全会一致可決
議第73号	令和3年度葛城市水道事業会計補正予算（第1号）の議決について	全会一致可決
議第74号	令和3年度葛城市下水道事業会計補正予算（第1号）の議決について	全会一致可決
議第75号	令和3年度葛城市一般会計補正予算（第5号）の議決について	全会一致可決

議第61号 高木希容子氏（忍海）

議第62号 **P5**

議第63号 **P5**

議第64号 庁舎機能再編により、葛城市福祉事務所が當麻庁舎から新庄庁舎に移転することに伴い、当該事務所の所在地の改正を行うもの。

議第65号 法令改正に伴い、事業者が行う記録などの作成を書面に代えて、電磁的記録により行うことができるようにする改正等を行うもの。

議第66号 法令改正に伴い、出産育児一時金の支給額を現行の40万4千円から40万8千円に引き上げる改正を行うもの。

議第67号 庁舎機能再編により、葛城市・広陵町介護認定審査会の事務所が、當麻庁舎から新庄庁舎に移転することに伴い、当該事務所の所在地の改正を行うもの。

議第68号 庁舎機能再編により、葛城市・広陵町障害支援区分判定審査会の事務所が、當麻庁舎から新庄庁舎に移転することに伴い、当該事務所の所在地の改正を行うもの。

議第69号 **P6 P7**

議第70号 主な補正内容は、国庫補助金の精算に伴う償還金の追加を行うもの。

議第71号 主な補正内容は、新型コロナウイルス感染症の影響による介護保険料の減免措置にかかる介護保険料の減額を行うもの。

議第72号、議第73号、議第74号 主な補正内容は、人事異動による人件費の補正を行うもの。

議第75号 国の経済対策として実施される住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金と子育て世帯への臨時特別給付金の追加を行うもの。

令和3年第4回定例会議案等に対する各議員の賛否の状況

賛否の分かれた案件を記載しています。15件中14件については全会一致で可決、同意されました。

議案等番号	件名	議席番号 氏名	議決結果														
			1 西川善浩	2 横井晶行	3 柴田三乃	4 坂本剛司	5 杉本訓規	6 梨本洪珪	7 吉村始	8 奥本佳史	9 松林謙司	10 谷原一安	11 川村優子	12 増田順弘	13 西井覚	14 藤井本浩	15 下村正樹
議第69号	令和3年度葛城市一般会計補正予算（第4号）の議決について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対

※議長は表決に加わりません

市政に斬り込む！ 一般質問



一般質問は、議員が自らの問題意識に基づき、市政全般に対して現在の状況や将来の方針について質問し、政策の見直しや提言などを行うことです。12月定例会では、12月9日・10日の2日間にわたり10人の議員が一般質問を行いました。

一般質問



松林 謙司
まつばやし けんし

その他の質問

- 義務教育通学費の補助について
- 庁舎施設内の点字ブロックの敷設について

ペットボトルの収集について



問 我が国は平成12年に制定された循環型社会形成推進基本法、平成18年6月の容器包装リサイクル法改正により基本的な考え方が示されペットボトルも、この考え方に則り処理されるべき資源ごみである。本市におけるペットボトルの収集量は毎年どの位か？また季節別の収集量は？

答 年間収集量は、令和2年度84t、令和元年度80t、平成30年度81tと直近3年間は、ほぼ横ばい状態。昨年度、3～5月5・6～8・1t、6～8月7・1～10・6t、9～11月9・1～5・5t、12～2月5・6～4・8tである。

問 ペットボトルの収集日まで自宅で空のペットボトルを保管すると結構な量となり保管場所に困る。お隣の御所市では、月にペットボトルも一緒に収集出来る『不燃物ごみ、金属系の日』と『不燃物ごみ、びん系の日』をそれぞれ設けている。従って月に2回程度はペットボトルを収集している。本市では、ペットボトルの収集は月に一度であるが、2回には出来ないのか。せめて使用量が増える夏場に2回の収集は実施するべきであると思うがこのことに対する市長の考えは？

市長 収集体制は週5日が埋まった状態だが、今後、ペットボトルの排出量の動向など色々な課題を工夫した、より良い対応が出来ないものか検討していきたい。

葛城市クリーンセンターの 2つの事業で、調査の必要あり！



一般質問



梨本 洪珪
なしもと ひろき

- 今回は1つの問題に焦点をあてて、掘り下げて質問

問 9月の一般質問では契約事務について指摘をしたが、その中でも「バグフィルターろ布取替え工事」と「再燃焼室耐火物緊急工事」の2つの事業は、多くの問題があると考えている。再燃焼室の工事では、業者と減額交渉をしたとのことだが、担当者は、見積もりの中身を確認して契約金額を決定されたのか？

答 緊急工事のため予算補正が間に合わず、予算残額の範囲内での価格交渉により値引きをさせていただいたもので、見積り内容の詳細まで検証できなかったのが実情である。

問 竣工日が1月19日のこの工事は、いつ業者選定委員会に報告されたのか？

答 業者選定委員会への報告は、令和3年6月2日に行っている。

問 この2つの事業は、おかしな点が多過ぎる。整合性の取れない資料ばかりであるが、調査されるのか？

副市長 調査をさせていただく。9月に質問いただき、改善点は改善している。今回の案件を昇華させて、色々な対策を講じたい。

問 これまでクリーンセンター事業について、根本的な原因究明がされないままでは、また問題が起きると言い続けてきた。その時に中身を検証していれば、防げたのではないかと考える。市長の思いを伺う。

市長 副市長と同じ答弁である。

孤独・孤立問題と それに付随する少子化対策



一般質問



坂本 剛司
さかもと つよし

その他の質問

- ゴミの無料収集継続とプラゴミの収集時間を午後から朝一に変更を

問 高齢者の孤独についてパートナーと2人である方が孤独感は減少すると思うが、死別等で1人で住んでおられる市民も多い。葛城市の高齢者で、ひとり暮らしをされている方の人数は？また、その人達への行政としてのフォローは？

答 70歳以上のひとり暮らしの方は1,026人おられる。市の対応としては、緊急通報システム事業、食の栄養改善、自立支援事業等を実施している。

問 自宅で老老介護をしている世帯の比率は？

答 介護者については配偶者が29.8%、子と子の配偶者の合計が65%である。

問 孤独問題の最悪の状態は孤独死であるが、葛城市

での状況とその対策は？

答 孤独死については全数把握できていないが、息が絶えた後、放置状態となった事例が1件あった。その後、地域の方々の見守り活動が行われている。

問 葛城市の30〜50代の独身男女も将来、孤独状態におかれるかもしれない。それらの独身男女を行政の力でマッチングさせてあげて人口の自然増により5万人チャレンジを達成させることについて市長の考えは？

市長 マッチング作業は葛城市ではやっていないが、奈良県や民間でやっている事業がある。行政が主体でやるべき事業かは、これから精査して考えていきたい。

※一般質問の内容については本人の責任において会議録を要約したものです。

小学校における英語教育の現状と今後について



一般質問



柴田 三乃
しばた みつあき

その他の質問

- ・葛城市の今後の国際交流についての考え
- ・観光の観点からの葛城市におけるブランディングについて

- 問** 英語は基本コミュニケーションツールで子ども達に国際感覚や多様性を身に付けてもらうためにも小さい時からの英語教育は大切と考える。現在の小学校における英語教育の現状は？
- 答** 小学校低学年からネイティブの英語の発音を聞いたり表現豊かに発話する機会を持つている。
- 問** タブレットはどのように英語教育に使用されているか？
- 答** 教科書に記載された二次元コードを読み込み、英語の発音を聞いたり一緒に発音したりしている。
- 問** 英語は毎日の積み重ねが大事だと思うが、タブレットを持ち帰って英語を学ぶことはできるか？
- 答** 学年の担任が相談し、学年単位で必要に応じて持ち帰っている。
- 問** せっかく学んでいる英語を生かすため海外の小学校と交流ができればと思うが、教育委員会として、どのような支援ができるか？
- 答** 県内で同様の取り組みが行われている所を参考にしたり、県教育委員会に情報提供を求めていきたい。
- 柴田** 英語は話せて当然の時代になった。葛城市の子ども達には国際感覚を小さい時から身につけてもらいたい。そのためにも、もっと自由度の高いタブレットの活用を進めていって頂きたい。また海外の小学校との交流の実現にむけてもっと努力していただきたい。

一般質問



吉村 始
よしむら はじめ

その他の質問

- ・葛城市立図書館の現在の状況について

就学援助の充実で子どもたちが教育を受けられる機会の保障を



- 吉村** 就学援助制度は、貧困の再生産を防ぐ意味でも重要な制度だと考える。
- 問** 令和元年度の全国1,766市町村の就学援助率は14・71%（文科省調査）だった。葛城市は？
- 答** 10・07%であった。
- 問** 準要保護の認定基準は、自治体ごとに定めている。奈良県下で生活保護の基準額に一定の係数を掛けた所得基準を採用している市の数とそれぞれの係数は？
- 答** 7市ある。生活保護基準額の1.4倍が1市、1.3倍が5市、1.1倍が1市である。
- 問** 全国で所得基準を採用している市町村が1,343で76%。葛城市も来年度から採用すべきだ。
- 答** 検証していきたい。
- 問** 生活保護の基準額の1.3倍以下とする市町村が72.3、40・9%と4割で最多である。所得基準の倍率を生活保護基準の1.3倍とするよう要望する。
- 答** 検証を行っている。
- 問** 準要保護生徒・児童の修学旅行費の拡充も検討してもらいたい。
- 答** 課題としていきたい。
- 問** 就学支援制度は憲法と教育基本法、学校教育法を根拠とする。援助の拡充、改善に加えて対象者以外への制度の広報を要望する。
- 教育長** 制度の充実を図ることは重要と認識している。援助の拡充、改善を十分検討していきたい。また、広く市民に制度を理解してもらえよう工夫していく。

一般質問



増田 順弘
ますだ のぶひろ

その他の質問

- 公共施設におけるおもいやり駐車場の設置について
- 農家へのコロナ対策について

安心して通学のできる環境整備を願う



問 平成24年に亀岡市で登校中の児童・保護者の列に車が突っ込み3人が死亡した事件をはじめ、令和3年6月にも千葉県八街市の通学路で5人の児童が死傷する事故が起きたことから国は全国の学校に対して通学路の検査を依頼したが本市の対応は？

答 各校PTAから学校を通じて問題箇所を挙げていただき警察、国道事務所、高田土木、市建設課、生活安全課、教育各課による合同会議を開催し、安全対策を進めている。

問 車を運転している方に通学路周辺での注意喚起を促す対策として「スピードおとせ」「飛び出し注意」などの看板設置の充実と車

道での歩行者の安全確保のためのグリーンベルトの充実、横断歩道の増設を願う。

答 看板の設置については環境を考慮しながら大字とも相談の上進めている。グリーンベルトについては設置基準はないものの通行車両の速度抑制効果もあることから危険と判断される箇所に設置している。横断歩道の設置については、点検結果や要望に基づいて警察署で交通量や事故状況、道路形態により判断される。
増田 本市の道路事情はよくない。幹線道路の渋滞を避けるため市内の生活道路を抜け道として利用されている危険な状況を踏まえ、十分な対策を講じないと大きな事故に繋がる。

一般質問



杉本 訓規
すぎもと くにのり

その他の質問

- 待機児童対策について

市内の通学路等の安全対策について



問 葛城市内道路の立て看板は現在見えにくいものや消えてしまったものが数多くあるが、現在どのような設置基準があるのか？

答 合同通学路点検の結果を踏まえた要望、大字区長からの要望協議の上必要に応じて設置している。

問 必要に応じて設置されているのなら全く文字が見えない看板は意味がない。設置した後の管理方法は？

答 文字の薄くなった看板、破損した看板の取替について大字から要望があれば交換修繕を行っている。

杉本 必要な箇所に設置されている看板には必要な文字が書かれている。市内の看板の数が多くて管理しきれっていない。必要不

しつかりと判断していただき看板の役割を果たしていただくように改善していただきたい。

問 通学路のゾーン30の設置基準は？

答 高田警察署による現場実地調査等を経て警察がゾーン30を設定する。歩行者、児童等の危険性が高い地域を高田警察署と協議を行い、基準に合致すれば設定する。

杉本 市内のゾーン30は児童や歩行者が多く交通量の多い危険な道路に設置されている。しかしゾーン30を道路に書いていただけではあまり効果がなく不定期で警察官が立つなどして更に通学路の安全を守っていただきたい。

※一般質問の内容については本人の責任において会議録を要約したものです。

産前産後ヘルパーの土日利用と 子育て支援センターの土日開設を



一般質問



谷原 一安
たにはら かずやす

その他の質問

- 自園調理施設のない磐城認定こども園の保育児への給食提供について

問 産前産後ヘルパーの土日の利用は葛城市ではどうなっているか。

答 土日の利用は人員の確保が難しいことから事業を行っていない。引き続き支援員の募集に努め、利用を希望する市民のニーズに応えることができるように努めていきたい。

問 家事支援であれば、支援員でなくても可能なのではないか。

答 県内の他市には家事支援をシルバー人材センターや民間事業者に委託して実施しているところもあるが、平日のみとなっている。土日利用については、葛城市のニーズの動向も見極めながら研究していきたい。

問 子育て支援センターが実施している親子教室や子ども広場は平日しか開催しておらず、共働き世帯の利用が難しい。図書館やスポーツ施設と同様に土日にも開設すべきではないか。

答 土日開設は実施場所と人員の確保の課題がある。子育て支援員となるには、保育士資格や子育て支援員研修を受ける必要もあり、人員の確保が課題だ。しかし、せめて月のうち1日でも土日開設ができないか、実施場所も含めて現在、担当課で検討を重ねているところである。

谷原 子育て中の親たちにとって親しく交流できる場があることは切実な願いだ。子育て支援センターのより一層の充実を求める。

一般質問



西川 善浩
にしかわ よしひろ

その他の質問

- 幼児教育・保育サービスについて
- 母子健康手帳アプリ導入について

奈良県社会教育センター廃止に伴う 四地域からの意見・要望について



問 奈良県社会教育センターの廃止に伴い懸念される環境・防犯・災害・獣害について中戸区、寺川区、辨之庄区、南道穂区の四地域から意見・要望書として提出されているが、これらの対応及び現在の状況は？

答 奈良県社会教育センター閉館後は無人となるため、荒廃することのないように防犯面、環境面も含めて適切に管理するように奈良県のほうに要望をし、県からも予算をつけてしっかりと管理する旨の報告を受けている。実際の管理状況について、建物は機械警備により、また敷地内は業者により毎日、巡回見守りを行って頂いている。

奈良県社会教育センター

一跡地、道の駅かつらぎを含めた葛城IC付近における、今後のまちづくりのビジョンを示して頂きたい。

市長 道の駅かつらぎから社会教育センターのエリアは奈良県の西の玄関口として葛城市また奈良県にとってもポテンシャルも高く大切なエリアであると認識をしている。奈良県と葛城市がしっかりと連携をとり、民間の力も借りながら奈良県中南和のにぎわいづくりの拠点となるように検討を重ねていく。

西川 奈良県とのまちづくり協定も視野に入れながらこのエリアがにぎわいの拠点となるように強く願う。



公共バスの通学利用について

一般質問



奥本 佳史
おくもと よしふみ

その他の質問

- 来るべきデジタル社会に向け、デジタルリテラシー教育の推進について

問 通学路上にある踏切について、国は平成28年の制度改正で緊急に対策の検討が必要な踏切をカルテ踏切に指定し安全対策を進めている。市内では尺土と八川の踏切が指定を受け対応が進むが、当麻寺駅改札口脇の当麻寺第1号踏切は、県道が線路に対し斜めに交差している関係で道幅が狭く踏切内歩道も無い。そのため歩行者は、車両やり過ぎの際に線路に立ち入る状況にあり危険だ。横浜市において、カルテ踏切の通学路要対策の規定を使って改良した例があり、まずはカルテ踏切の申請を求める。

答 規定に適合するものとして、道路管理者の奈良県に対し要望していく。

問 以前の質問で、公共バスの通学利用に関し地域公共交通活性化協議会で取り上げるとのことだったが、検討された形跡が無い。

答 内部的な検討の結果、協議会には上げていない。

問 協議会は運送事業者の保護を目的とするものなのか？市民の交通手段をどう確保するか考える場ではないのか？何もスクールバスを運行せよと言っているのでは無い。遠隔地より自転車通学する生徒が体調等により公共バスを使うことになどんな不都合があるのか？

教育長 特別な理由がある場合は、公共バスの利用を認めている。

奥本 除外項目があるのなら周知していただきたい。

新人議員研修を開催

今回の葛城市議会選挙では新人議員4名が誕生しましたが、葛城市をより良くするという目的のために何よりも不断の努力が必要です。その第一歩として11月16、17日の二日間で新人議員研修が行われました。

初日は各担当部局の事業内容及び予算などについての説明がありました。当然ながら一日で消化できる情報ではありませんが、行政の根幹となる仕組みなど、全体像を把握することで、これからの活動の基盤作りに役立つことができると実感しました。

二日目は市内の施設を見学しました。最新の設備を備えた施設もあれば、老朽化で維持が大変な施設もありました。コロナ禍でもあり、施設の利用なども制限されていて、普段なら市民の方々の憩いの場にもなっているであろう施設がガランとしているのも寂しい印象がありました。しかしながら、一つ一つの施設には目的もあり、その地域が必要とされているだろうとい

う事も感じ取れ、これからの公共施設マネジメントの重要性をひしひしと感じました。

小さな一歩を踏み出した新人議員が、葛城市のために切磋琢磨していくことを改めて心に誓った二日間となりました。



※一般質問の内容については本人の責任において会議録を要約したものです。

議員研修を開催

12月17日、元全国市議会議長
会法制参事の廣瀬和彦氏（地方
議会総合研究所代表取締役）を
講師としてお招きし、午前中は
「議員・議会の権限、議会運営
に関する事項」、午後からは「今
後、葛城市議会が検討してい
くべき事項」をテーマに議員研
修を開催しました。

【議会の権限】については、議
会の本来的かつ中心的な権限で
ある議決権の範囲と活用手法
や、議会の調査権、意見書提出
権、請願受理権などを、地方自
治法に基づいてご教授いただき
ました。その中でも、議員の資
格決定や懲罰の判断では、全国
的に有名となった事例などを提
示しながら、兼業禁止や懲罰の
対象となる事由などを分かりや
すくお伝えいただきました。

【議員の権限】については、議
案提出権や修正権、動議提出
権、発言権などを、根拠となる
法や留意点などを示しながら、
講師が葛城市議会でも再考した方
が良いと考えるポイントをお伝
えいただきました。葛城市議会
では機会の少ない議員問討議に
ついて、他市議会でも合意形成

が上手くいつている事例などを
紹介していただきました。

午後からは葛城市議会の現状
を踏まえて、「コロナ禍を踏ま
えた議会ICTの推進」「議員
報酬・議員定数」「政務活動費」
についてご教授いただきました。

【コロナ禍を踏まえた議会ICT
の推進】については、単なる
ペーパーレス化だけの観点から
でなく、オンライン委員会の開
催や電子採決システムの導入等
からICT推進の必要性が高ま
っており、タブレットの導入と
システムの導入を考える必要が
あるとの内容でした。

【議員定数】については、議会の
権限を發揮する議員定数や6種
類ある議員定数の算定方式を示
しながら、それぞれの算定方式
における葛城市議会議員数の現
状との比較を提示していただき
ました。

【議員報酬】については、7種
類の議員報酬算定の基準方式を
示しながら、それぞれの考え方
と葛城市との比較を提示して
いただきました。

【政務活動費】についても、人
口段階別の交付状況や交付月額、

收支報告書の公開状況などを
説明いただきました。

最後に質疑や意見交換の時間
も設けられました。限られた時
間でしたが、講義内容について
の深掘りした質問が行われ、参
加した議員からは「大変、有意
義であった」「今後の議会改革
の礎となる」などの意見が寄せ
られました。



編集後記

昨年の10月に任期満了に伴い、
葛城市議会議員選挙が執行をさ
れました。私を含め15名の立候補
者が無投票での当選となりました。
果たしてこれで良いのでしょうか？

良いわけがありません。もちろ
ん当選をさせて頂いたからには市
民の皆さまのため、そして、この
葛城市が明るく豊かな街となるた
めに活動をしていかなければなり
ません。それは選挙があるうがな
かろうが決して揺るぐことない使
命であります。さらに、もう一つ
の使命は議員活動や議会の在り方
を市民の皆さまに知って頂き、開
かれた議会そして身近で親しみ易
い議会になり、議員の仕事の魅力
を知って頂き、この葛城市の発展
を憂い行動できる人を増やす事
であります。本誌によって一人でも
多くの方の心に響く事を願いた
いと思います。(西)

■議会だより編集委員会

- ◎吉村 始 ○谷原 一安
西川 善浩 柴田 三乃
坂本 剛司 杉本 訓規
梨本 洪珪 奥本 佳史
(◎委員長○副委員長、議席順)

◆次号議会だより（令和4年6月1日発行予定）は、3月定例会の概要などをお知らせします。